

SDGs ERK on ICE 2026 競技規則書

1 競技概要

1.1 競技クラス

競技クラスは以下の2クラスとする。

- A) チャレンジクラス（上限40名）
 - B) オーナーズクラス（車両提供チームおよび車両持参チーム）
- クラス分けの定義は下表のとおりとする。

クラス	参加基準
チャレンジ	カート運転未経験者 または カート運転に自信のない者 ※身長 150cm 以上であること
オーナーズ	競技運営に協力し、車両を提供するチームが選出したドライバー および 車両を持参するチームが選出したドライバー

1.2 競技内容

1 周約 100mのオーバルコースを、スパイクタイヤを履いた4台の電気レーシングカート（以下 ERK）を使用して走行する。（オーナーズクラスを除く）
それぞれのクラスの競技は下表のとおりとする。

クラス	競技内容
チャレンジ	先導車両の先導のもとでコースを約1周したのち、指定のスターティンググリッドに停止。フラッグまたはシグナルの合図により一斉にスタートし、2周のレースにて勝敗を決定する。
オーナーズ	コースインし指定のスターティンググリッドに停止後、フォーメーションラップ1周を実施。指定のスターティンググリッドに停止後、フラッグまたはシグナルの合図により一斉にスタートし、5周のレースで競技を行う。これを2レース実施し、各レースの獲得ポイント数の合計で勝敗を決定する。 【ポイントシステム】 1st : 10pt 2nd : 6pt 3rd : 4pt 4th : 3pt 5th : 2pt 6th : 1pt

2 使用車両

チャレンジクラス競技にて参加者が乗車する車両は大会事務局が用意するものとし、乗車する車両はくじ引きにて決定する。

※車両性能は同一ではないが、事務局は可能な限り車両性能の均衡化を図る

オーナーズクラス競技については各チームが提供および持参する車両とする

※車両性能の調整はかけず、各チーム独自の性能で使用する

3 ドライバー装備品

- ヘルメット
フルフェイスタイプまたはジェットタイプ（シールド付き）を装着のこと。
（共に JIS・SNELL・MFJ 等の規格適合品を強く推奨する） *注 1、2
- グローブ
確実に手全体を保護できるものであること、軍手は不可とする。 *注 3
（レーシンググローブを推奨する）
- シューズ
運転操作に適した靴であり、少なくともかかとが保護されるものであること。
（レーシングシューズを推奨する）
- 服装
長袖、長ズボンであり、肌が露出するものでないこと。
（難燃素材のもの、またはレーシングスーツを推奨する）
また、スケートリンクというコース特性上、レインウェア等の装着を推奨する。

*注 1 チャレンジクラス参加者に限り、ヘルメット未所有の場合は、主催者からの貸出も可。

*注 2 長髪の場合は髪を結くこと、ヘルメット内もしくはウェア内に髪を収めること。

*注 3 滑り止めのある軍手の使用は可とする。

【アクションカメラ（GOPRO 等）の取り付けについて】

競技者のヘルメットに、可能な限り短いステーにて強固に固定してある場合のみ許可する。

※取り付けを希望する参加者は、ドライバーブリーフィング直後に取り付け状態
を競技スタッフに提示すること。提示がない場合・取り付けが不適切な場合は、
装着した状態での走行を認めない。

※胸部など身体に装着するカメラマウントの使用は認めない。

4 ドライバー義務

全てのドライバーは、状況に応じて適切な行動をとらなければならない。

- 信号旗が提示された
⇒提示された旗を確認し、その意味に応じた適切な行動をとること。
【このイベントにおける信号旗の例】

旗の種類	旗の意味	とるべき行動
黄旗	前方に危険あり注意せよ	弱減速&追い越し禁止
赤旗	レース中断	安全に速やかに停止し、 オフィシャルの指示に従う
チェッカー フラッグ	レース終了	緩やかに減速し、 オフィシャルの指示に従う

- 何らかの原因でコース上に停止した
⇒他車へのアピールのため、両手を高く上げて振ること。その後、自力での復帰が
可能であれば、周囲の安全を確認したうえで再スタートすること。
- トラブル等により非常に低速で走行している
⇒他車へのアピールのため、片手を高く上げながら走行すること。

5 チャレンジクラス競技規則

参加者を4名ずつの10グループに分け、各グループにて1.2（競技内容）で規定されたレースを実施する。

各グループの1位をそれぞれ勝者として表彰するが、グループ勝者同士の順位決定戦は実施しない。その他規則の詳細は以下のとおりとする。

5.1 グループ分け

主催者が決定する。

5.2 乗車車両およびスターティンググリッドの決定

参加受付時にくじ引きにて決定する。

スターティンググリッドは、事前に主催者により車両とひも付けされる。従って、乗車車両の決定と同時にスターティンググリッドも決まる。なお、スターティンググリッドは、観客席側とその反対側の2箇所に設ける。

5.3 スタート進行

各競技者が指定の車両に乗車し、先導車両の後方に指定の順序で1列に並び約1周走行する。その後、それぞれ指定されたスターティンググリッドにて停止する。スターターによるスタートフラッグまたはシグナルの合図にて全車一斉にスタートする。

5.4 競技の終了

勝者が決定した時点で競技終了とし、チェッカーフラッグ振動にて合図する。競技終了の合図があった場合は、競技者はフィニッシュライン通過前であっても、安全に減速し、オフィシャルに指定された場所に車両を停車させなければならない。

5.5 勝者の決定

最も早くフィニッシュラインを超えた競技者を勝者とする。

5.6 リタイヤ・失格（ペナルティ）

以下の項目に該当すると認められた場合は、リタイヤとみなす、または失格処分を適用することがある。

・リタイヤとみなす場合

クラッシュその他の原因により、自力での走行を継続できないと判断されたとき。
競技終了前に、競技者が車両から降りたとき。

・失格処分を適用する場合

ジャンプスタート（フライング）があったと認められた。

コースをショートカット（ミスコース）して走行した。

コースを逆走した。

他車と衝突し、他車を強引に追い抜いたことが明らかであると判断された。

他車と衝突し、他車をクラッシュさせた。

6 オーナースクラス競技規則

車両を提供した全チームを対象とし、1.2（競技内容）で規定されたレースを実施する。最多ポイント獲得または下記「勝者の決定」ルールにより、1位のチームのみ表彰する。その他規則の詳細は以下のとおりとする。

6.1 乗車車両およびスターティンググリッドの決定

車両は自チームの車両とし、スターティンググリッドはくじ引きにて決定する。

6.2 スタート進行

各競技者が車両に乗車後、指定されたスターティンググリッドへ移動する。フォーメーションラップを1周実施し、再びスターティンググリッドにて停止する。スターターによるスタートフラッグまたはシグナルの合図にて全車一斉にスタートする。

6.3 競技の終了

勝者が決定した時点で競技終了とし、チェッカーフラッグ振動にて合図する。競技終了の合図があった場合は、競技者はフィニッシュライン通過前であっても、安全に減速し、オフィシャルに指定された場所に車両を停車させなければならない。

6.4 ドライバー交代

第1レース終了後にドライバー交代を実施する。第2レースのスタート進行および競技の終了は第1レースと同様とする。

※ドライバーが1名のみの場合でも、一度乗り換えエリアに行き待機すること。

6.5 勝者の決定

各レースのフィニッシュラインを早く超えた順に順位付けを実施し、順位に応じたポイントを付与する。2レースの合計ポイントが最も多いチームを勝者とする。

※ポイントが同数となった場合の勝者の決定は以下の順序で行う。

- ①1レースでの獲得ポイントが多い
- ②第1レースの獲得ポイントが多い

6.6 リタイヤ・失格（ペナルティ）

以下の項目に該当すると認められた場合は、リタイヤとみなす、または失格処分を適用することがある。

・リタイヤとみなす場合

クラッシュその他の原因により、自力での走行を継続できないと判断されたとき。
競技終了前に、競技者が車両から降りたとき。

・失格処分を適用する場合

ジャンプスタート（フライング）があったと認められた。
コースをショートカット（ミスコース）して走行した。
コースを逆走した。

他車と衝突し、他車を強引に追い抜いたことが明らかであると判断された。
他車と衝突し、他車をクラッシュさせた。

7 競技への参加

各競技への参加方法および参加費は以下のとおりとする。

- 参加方法
特設ホームページの申し込みフォームに必要事項を記入し申し込むこと。
- 参加費
下表のとおりとする。

参加クラス	競技参加費（税込み）	上限人数
チャレンジ	¥5,500／1 名	40 名まで
オーナース	事務局に問い合わせのこと	—

※チャレンジクラスは、定員に達した時点で締め切る

* 本競技規則書は、2026 年 8 月 5 日現在のものです。変更になる場合があります。